

実社会との結び付きを実感させる指導の工夫

～取材による体験的な活動を通して～

特別研修員 商業 関上信也（高等学校教諭）

生徒の実態

- 学校で学んだ内容が**社会で使われている実感がない**
- 広告などの戦略は**よく分からない**
- 用語は分かるけど**活用する場面が分からない**

教師の願い

- 教科書で学んだ内容を**社会に出て**見てほしい
- 自分で調べた内容**を基に**戦略など**を考えてほしい
- 様々な視点**を持ってほしい

目指す生徒像

- 学習した内容が**身近な場所で活用**されていることを**実感できる**
- 商品の**陳列方法**とお店の**戦略**を**結び付けて**考えられる
- 学習した用語を使って**具体的に説明や発表**ができる



授業実践例

単元：商品の棚割と陳列

取材

- ◆実際の店舗に行き、個人で取材（テーマは選択）
- ◆「写真撮影」「スケッチ」で記録に残す

ポイント

- ①「平台」「ショーケース」「ショーウインド」など、授業で学んだ陳列方法が実際にはどう使われているか調査させる
- ②なぜ、その陳列をしているかを考えながら取材させる



発表

- ◆写真やスケッチをICT機器で投影
- ◆調べた内容を各自が発表

ポイント

- ①「テーマは何か」「何を調べたのか」等、具体的に発表させる
- ②学習内容を基に店の戦略を自分自身の視点で発表させる

ショーケース陳列について調べました
顧客に魅せる戦略をしていると思いました



考察

- ◆グループ（テーマ別）で共通点を見つける
- ◆ターゲットや効果などを考察

ポイント

- ①「利点」「欠点」について共通点を見付けさせる
- ②その陳列方法が、どのような場面で効果的か考察させる

コーディネート陳列で、商品を関連付けて販売することができるから、相乗効果を狙っていると思うな



成果

- ◎取材では、各自が興味を持ち、積極的に取り組んでいた
- ◎各自で調べた内容なので、具体的で活発な意見交換になった
- ◎学習内容が社会で使われていることを実感させることができた

課題

- テーマや内容を絞ることで、より生徒が調べやすくなる
- 発表時に考えをうまく伝えられない生徒がいるので、発表する場を増やすなど、授業の展開を工夫していく必要がある